

国立市財政の基本的なあり方について

「国立市財政のあるべき姿」(案) これまでの議論を受けて作成した“たたき台”
市財政の課題が解消されている状態とは

全般に関すること

基礎的財政収支に着目し、借金がこれ以上増えない
実施計画において健全化必要額が生じていない

歳入に関すること

市税・保険税・使用料が適正化されている・・・
他市並みの市民負担となっている・・・

歳出に関すること

予算全体が削減されている・・・
事務事業が見直されている・・・
時代に見合った制度設計となっている・・・
特別会計への繰出金が減らされている・・・
下水道事業債の元利償還金が減らされている・・・
人件費が減らされている・・・

その他

産業振興の取組がされている・・・
市の特色を活かした人口増加策がなされている・・・

国立市財政の基本的なあり方について

「改善目標の設定」(案) これまでの議論を受けて作成した“たたき台”
どれくらいの健全化額を目標とするか

各年度の基礎的財政収支がプラスになる状態

財政調整基金・臨時財政対策債に頼らない財政運営
(財政調整基金+臨時財政対策債+実施計画健全化必要額)

実施計画における健全化必要額

国立市財政の基本的なあり方について

「財政改革の考え方」(案) これまでの議論を受けて作成した“たたき台”

財政改革に向けた6つの分類

(1) 「まずは、行政の徹底的な合理化から」

歳出削減・歳入確保・定員管理・事務事業の見直し等 < . . . >

具体的議論: 給与・報酬見直し、 歳入確保(徴収率・税率)、 税外収入確保、 外郭団体等見直し
定員管理、 事務事業見直し、 下水道事業債繰上償還

(2) 「特別会計の健全化～母屋だけでなく離れも～」

特別会計保険税・使用料の適正化等 < . . . >

具体的議論: 特別会計繰出金の圧縮、 国民健康保険税の適正化、 下水道使用料の適正化

(3) 「時代のギャップを埋める」

各種補助金の見直し < . . . >

具体的議論: 補助金・負担金見直し、 扶助費圧縮(高齢者施策全体のあり方)

国立市財政の基本的なあり方について

「財政改革の考え方」(案) これまでの議論を受けて作成した“たたき台”

財政改革に向けた6つの分類

(4)「行政サービスの適正な負担を」

手数料等の適正化等 < >

具体的議論: 受益と負担の適正化(自転車駐車場定期使用料・家庭ごみ処理手数料等)

(5)「行政サービスの向上・効率化を」

民間委託・民営化・公民連携・ストックマネジメント

具体的議論: 施設民営化、市有財産の統廃合、未利用地の活用、売却・借地のあり方

(6)「さらなる創意工夫を」

産業振興の取組・特色を活かした人口増加策等 < ・ >

具体的議論: 産業振興策、人口増加策